

Ⅱ 調査結果の概要

1 観光交流客数

- ・ 観光交流客数は、1億3,824万人で、前年度を153万人(1.1%)上回った。
- ・ 前年度に対して、宿泊客は減少したが、富士地域における大型観光商業施設の入込み増等により観光レクリエーション客が増加した結果、観光交流客数は増加した。

2 宿泊客数

- ・ 宿泊客数は1,872万人で前年度を61万人(3.2%)減少した。
- ・ 駿河地域、中東遠地域で増加、富士地域、西駿河地域では前年並み、伊豆地域、西北遠地域では減少した。

3 観光レクリエーション客数

- ・ 観光レクリエーション客数は1億1,952万人で前年度を214万人(1.8%)上回った。
- ・ 分類別では、「産業観光」「スポーツレクリエーション施設」「買物」が増加した。

4 主な季節の状況

(1) ゴールデンウイーク

- ・ 宿泊は、修善寺と南伊豆で前年並みとなったが、その他の地域(熱海、下田、東伊豆、西伊豆、伊東、伊豆の国、奥大井、館山寺)は前年を下回った。
- ・ 観光施設とイベントの入込みは、それぞれ7.1%、12.5%前年を下回った。

(2) 年末年始

- ・ 宿泊客数は、熱海、伊東、下田、修善寺、伊豆の国、館山寺などは前年並みか前年を上回ったが、その他の地域では前年を下回った。
- ・ 観光施設は、伊豆、東部地域を中心に多くの施設で前年並みか前年を上回った。

5 地域別の主な特徴

【伊豆】 四半期によっては前年度より増加した地域もあったものの、全体としては宿泊客数、観光レクリエーション客数とも減少した。

【富士】 好天が続き平成になってから最高となった富士登山や大型商業観光施設の人気により、観光レクリエーション客数が増加した。

【駿河】 イベント等の入込増加により観光レクリエーション客数が増加し、宿泊客数も増加した。

【西駿河・奥大井】 宿泊客数は、島田市、藤枝市以外は減少が目立った。観光レクリエーション客数は3年に1度の島田大祭が開催された前年との比較で島田市は大きく減少したが、産業観光や調査対象の増加により増加した市町もあった。

【中東遠】 観光レクリエーション客数は掛川市で大きく増加して地域全体では増加したが、他市町は前年並みか減少であった。

【西北遠】 観光レクリエーション客数は微増であったが、宿泊客数は湖西市では増加した一方、浜松市、新居町は大きく減少した。